

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 第3委員会室
			担当職員 池永
日 時	平成30年9月18日(火曜日)	開 議	午後 0時 3 分
		閉 議	午後 0時 38 分
出席委員	◎西口、○石野、奥村、並河、藤本、木曾、明田（湊議長）		
出席理事者			
出席事務局	片岡局長、池永主任		
傍聴者	市民1名	報道関係者0名	議員1名(酒井)

会 議 の 概 要

1 2 : 0 3

1 開議

2 事務事業評価選定事業の論点整理

[事務局説明]

事務事業評価では、限られた時間の中で説明・質疑、その後の委員間での議論を通じて評価結果をまとめるということから、時間上の制約もあるため、議論の焦点とすべきことを事前に整理しておく必要がある。当日、論点に沿った質疑、適切な評価ができるよう、これより論点整理を行っていただきたい。

(1) 畜産振興関係経費

<西口委員長>

事務局から論点整理資料の説明を。

<事務局主任>

(資料説明)

<西口委員長>

論点について意見は。

<奥村委員>

決算の数字を見ると、皆さんの選定理由に対するような数字が全然ない。例えばPR等については平成28年度にパンフレットを作成し、あとは肉フェスタくらいである。藤本委員が言われるような、ふるさと納税の返礼品としてどうなのかというような、この産業の今後の見通しや、従事者や頭数・施設を拡大するというのが全然ない。鶏舎は7900万円と大きいですが、1年限りのものである。そういうものがないので論点が出しにくい。逆に言えば、そういうことができていないということを書いていけばどうか。

<木曾委員>

それでよいのではないか。

<奥村委員>

土づくりセンターや食肉センターの修繕ばかりである。亀岡牛の育成・PRに関するものが全然ない。

<藤本委員>

取り組みが十分効果を発揮しているか。補助はしているが生産体制は十分なのか。ふるさと納税の返礼品にしているが、単にへレなど生肉の部位ばかりではなく、亀岡牛を使った加工品に広げていくようなことをしているのか。単に牛を生産してばらして部位で売るということだけではなく、そういうことをしているのかを聞きたい。またPRに関しては、言われたら出すという程度しかやっていないのではないのか。

<並河委員>

畜産業者の育成について、以前と比べると少なくなっているのではないかと思う。市の畜産業に対する支援強化の考え方などを聞きたい。

<西口委員長>

論点として整理するとなると、決算審査の内容なので非常に難しい。育成・PRも含めて、支援についての今後の事業計画・考え方でどうか。畜産なので、亀岡牛や養鶏も含めての支援について、次の予算に反映させるための論点が必要である。

<藤本委員>

生産体制・PRについて、しっかり効果が出せているかが見えない。それだけの予算を割いて補助しているのだから、その効果をしっかり聞いていく必要があるのではないか。

<西口委員長>

そのような論点でよいか。(了)

<西口委員長>

詳細は正副委員長で整理する。

<奥村委員>

器具修繕や施設修繕について、個々の箇所と内訳の資料を出してもらったらどうか。

<西口委員長>

資料を請求することでよいか。(了)

<西口委員長>

養鶏の7900万円は府10/10であるが、でき上がって、今どう動いているかという報告も受けられるのか。

<奥村委員>

説明すべきことであるが、1回きりのことなので、事務事業評価には関係ないのではないか。

<木曾委員>

畜産クラスター事業の関係だが、どれだけの畜産業者が関わって、どれだけのものができたのかを含めて確認したい。補助金を出すから手を挙げてくれということで止まっているのか、実際にやっているのかについては報告がない。いくら府補助に関わるものであっても、大事な部分である。基本的な部分なので確認したい。

<西口委員長>

これについてはこの程度で良いか。(了)

(2) 観光推進経費

<西口委員長>

前回の意見を含めて論点を整理したい。

<木曾委員>

これだけの高額な金額をかけている。財源内訳をみると国・府が多いが、どこかに補助金をつけたというだけではなく、入込客を含めて、亀岡の観光業としての効果

をどのように検証しているのかが見えない。きちんと検証し、せっかく補助金を出していても、あまり効果が見られないということであれば見直して、違う形の補助金を考えないといけない。その辺を質疑したい。

<奥村委員>

昨年も同様に事務事業評価をした。これだけのものを10分間で説明するのは難しいが、一応全部してもらわねばならない。できれば、どこを集中的にするのかを皆で決めておいた方がよい。また、森のステーションかめおかの3400万円とLeaf647万円は単年度のものであり、それらの4千万円を引くと例年どおりの8千万円くらいになっている。森の京都についてはあれだけのことをしたので、今後のこともあり、聞いていかねばならない。しかし、森の京都とDMOについては、事務事業評価はまだ早いと個人的には思っている。

<並河委員>

項目はたくさんあるが、できるところについては、もう少し具体的な数字で詳細な資料をいただきたい。その資料でもって質疑したい。

<西口委員長>

具体的には。

<並河委員>

例えば、観光PRの交通広告はどこにしたのか。また、観光おもてなし事業にはどのような事業があるのか。全部でなくてもよいが、金額が大きいものをいくつか出していただけたらと思う。

<藤本委員>

観光協会補助経費について、4400万円程度出ている。ほとんど人件費に消えているのではないかと危惧するが、どう生かされているのか。また、それに加えて森のステーションの3400万円が突出している。それだけ経費をかけて事業がどれだけ進捗したのかを説明いただきたい。外国人観光客向け観光案内所も、ただ窓口に人を置いただけなのか、それとも効果が出て人が増えているのかということも聞いていきたい。

<明田委員>

丹波亀山城下町まち歩き誘客事業と城下町観光誘客事業と、似たものが2つあるがどうか。

<奥村委員>

宝さがしゲームと、本町の町家カフェだと考える。

<明田委員>

その事業で具体的に項目を出していただきたい。

<西口委員長>

内容が全部違うので、1つずつ論点が変わってくる。項目として挙げて、詳細を確認していくという形でしか仕方ないのではないかと。

<奥村委員>

1つずつすると時間かかる。本来であれば、この中から1~2個選ぶほうがよいのではないかと。

<西口委員長>

詳細を確認するなら2、3件に絞ったらほうがよいと考えるがどうか。

<奥村委員>

そのほうがよいと考える。

<西口委員長>

森の京都は以前から出ている。補助金で動いているものであり、ちよくちよく見に行っているが、あまり人が入っているのを見ない。

<明田委員>

いつまでの事業であったか。

<奥村委員>

今年で終わりである。

<明田委員>

今年で終わりなら、今やっておかねばならない。

<西口委員長>

では、森のステーションは項目に入れる。3つくらいに絞って詳細を確認していくことでよいか。(了)

<木曾委員>

外国人観光客向け観光案内所は、何にお金を使っているのか。

<奥村委員>

観光案内所の職員である。トロッコ列車の案内所と、亀岡駅の案内所の、英語または中国語が話せる職員の人件費である。アルバイトである。

<木曾委員>

金額が大きい。これを入れてはどうか。

<西口委員長>

それでよいか。(了)

<奥村委員>

あと、光秀まつりの補助金の成果がどうなっているかということとは言えると思う。

<藤本委員>

観光おもてなし事業について、去年370万円、今年も360万円と毎年同じような金額であるが、具体的に何をしているのか。

<奥村委員>

地方創生の補助金である。これは聞くべきである。また、先ほど出ていた交通広告のPRについて、JRや私鉄沿線のどこでやっているのか、効果があったのか等についても言えると思う。

<木曾委員>

観光協会補助経費が年々上がってきている。3千万円が4千万円になり、4400万円になっている。何に活用されているのかよく分からない。金額も大きいので聞くべきである。

<奥村委員>

内容は人件費だと考える。今まで市の職員が1人しか行っていなかったのが2人行くようになった。今年は1人になったので、平成30年度は逆に下がると思うが、平成28年、29年は2人行っていたので上がっているのではないか。

<木曾委員>

退職者を受け入れるために、こういう形で補助金を出すのは本末転倒である。それなら役所の中でサポートするなど、いろいろな部分の中ですべきである。

<西口委員長>

この項目は入れておく。あと、森のステーション、観光おもてなし事業、外国人観光客向け観光案内所である。

<木曾委員>

そのくらいでよいのではないか。

<西口委員長>

では、その4点でよいか。(了)

<奥村委員>

つまり、担当課が全部説明した上で、今の4点を重点的に質疑するということによいか。

<西口委員長>

そうである。今意見が出ていたことをしっかりと確認されたい。

<木曾委員>

この4点について集中的に質疑があるので、それに対する答えを返すための資料を準備しておくように事務局から伝えられたい。その場で資料請求したら時間ばかり過ぎてしまう。できるだけスムーズに進行できるように、資料を揃えていただくようお願いしたい。

<事務局主任>

承知した。項目を確認すると、森のステーションかめおか推進事業、外国人観光客向け観光案内所窓口強化事業、観光協会補助経費とのことである。あともうひとつの観光おもてなし事業については、観光PRに係る交通広告も含むのか。

<奥村委員>

おもてなしだけでよいのではないか。

<事務局主任>

では以上の4点について、資料の準備も含めて依頼しておく。

3 その他

(1) 審査日程

[事務局 決算審査日程説明] (了)

<西口委員長>

その他、事務局から連絡事項はあるか。

<事務局主任>

地方創生関連交付金等の資料を配付した。明日からの決算審査に持参願う。また、決算カードも配付している。暫定値ではあるが、決算審査の参考にされたい。なお、明日10時からの決算全体会には、提出予定議案の概要を持参願う。

～散会 12:38